

しあわせ家族計画 字幕

Chapter2: Moving

ゆう こ
優子 : 消さないでよ、気が滅入る¹から

よしぞう
義造 : おう、来やがったな²

ふじ お
富士夫 : すみません、あの、この年の瀬³に

よしぞう
義造 : なあに⁴、にぎやかで結構なことよ⁵

つね こ
恒子 : 中入って

あとで、おいしいおそば作ってあげるから

ゆう こ
優子 : ねえ、お店の前、車、邪魔じゃない

つね こ
恒子 : 大晦日⁶だって、どうせ⁷客^{きやく}なんか来やしない⁸から
だいじょうぶ、だいじょうぶ

よしぞう
義造 : ばあさん

ゆう こ
優子 : こんな、捨てちゃおうかな⁹

つね こ
恒子 : 何、言^いってたんだ¹⁰
もったいないね

ゆう こ
優子 : だって、がらくたばかりなんだもん¹¹

つね こ
恒子 : ね、なに、富士夫さん、次の勤め口¹²、なんか当てあんのかい¹³

ゆう こ
優子 : さ、どうだか¹⁴

あたし、お勤めしようかな¹⁵

つね こ
恒子 : ばか、何言^{なに}ってんの、そんな歳^{とし}¹⁶になって

ゆう こ
優子 : 失礼ね

よし た ろう
由太郎 : お姉ちゃん、テレビどこ置くの

よう こ
陽子 : 無理だよ、せまくて

よし た ろう
由太郎 : えええ、ドリームキャストできないじゃん¹⁷

よう こ
陽子 : うわああ、最悪^{さいあく}

ゆう こ
優子 : 蕎麦^{そば}がゆだった¹⁸わよ

なに
何^{なに}してんの¹⁹、そんなとこ²⁰で

富士夫^{ふじ お} : ん、ん、ちょっと²¹
優子^{ゆう こ} : 変^{へん}な人^{ひと}

テレビ : 「第40回^{だい} 輝^{かがや} く日本^{に ほん}レコード大^{たい} 賞^{しょう}²²」

由太郎^{よし たろう} : うめえ²³

義造^{よしぞう} : おお、そうか
いっぱい食^くえ²⁴

恒子^{つね こ} : うめえええ

優子^{ゆう こ} : 飲^のみ過^すぎよ

恒子^{つね こ} : いいじゃないの、大晦日^{おおみそ か}なんだから

優子^{ゆう こ} : なに受^うけ取^とってんのよ²⁵
ああ、おいし

義造^{よしぞう} : お前^{まえ}が飲^のむんじゃねえよ²⁶

優子^{ゆう こ} : もったいないじゃない
この人^{ひと}飲^のめないって言^いってたでしょ²⁷

義造^{よしぞう} : そっか²⁸

義造^{よしぞう} : どうだい²⁹、富士夫^{ふじ おくん}君
この際^{さい}だから³⁰、再^{さい}就^{しゅう}職^{しょく}なんて³¹考^{かんが}えずに³²、うちで働^{はたら}かんか³³
これからは会社^{かいしゃ}なんか³⁴当^あてにならんぞ³⁵
男^{おとこ}はなんつってもな³⁶、これよ

恒子^{つね こ} : あんた

義造^{よしぞう} : もとい³⁷、もとい
これ、これ

富士夫^{ふじ お} : ごもつともです³⁸

義造^{よしぞう} : おう、坊主^{ぼうず}³⁹
今度^{こん ど}から、本^{ほん}町^{ちやう}小^{しょう}学^{がっこう}校⁴⁰だな
あそこはいいぞ
何^{なん}せ⁴¹、スポーツがつよい

優子^{ゆう こ} : だから心配^{しんぱい}なのよ
由太郎^{よし たろう}、お父^{とう}さんに似^にて、運^{うん}動^{どう}神^{しん}経^{けい}ゼロなんだから

恒子^{つね こ} : ああ、どうした
ばあちゃんのそば、うまくないかい⁴²

陽子^{よう こ} : ううん

優子^{ゆう こ} : 今度^{こん ど}はちゃんと行^いきなさいよ、学^{がっこう}校

ようこ
陽子 : わかってるよ
つねこ
恒子 : 行くよね、ちゃんと
ゆうこ
優子 : また
つねこ
恒子 : いいじゃないか、ケチ⁴³だねえ
ゆうこ
優子 : お母ちゃんのために言^いってんのよ⁴⁴
よしぞう
義造 : 静^{しず}かに食^くえよ、おめえ達^{たち}⁴⁵は
ゆうこ
優子 : なに⁴⁶、いつもお父ちゃんの方がうるさいじゃないのよ

よし たろう
由太郎 : ほら見^みろ⁴⁷
ようこ
陽子 : うるさい
よし たろう
由太郎 : いくぞ⁴⁸

ゆうこ
優子 : お待^またせしました⁴⁹
これどうぞ
つねこ
恒子 : 今年^{ことし}もよろしくお願^{ねが}いします
ゆうこ
優子 : お願^{ねが}いします
またどうぞ
ゆうこ
優子 : お母^{かあ}さん、年^{ねん}始^しのお客^{きやく}って、こんなだった
つねこ
恒子 : 毎年^{まいとし}、歯^はが抜^ぬけるみたい⁵⁰に減^へってるわよ
ゆうこ
優子 : やって⁵¹いけんの

よしぞう
義造 : ほらほら⁵²、さっき言^いったじゃねえか⁵³
てまえはんぶん⁵⁴にアンを引^ひくんだよ⁵⁵、てまえはんぶん
やさしく、やさしく、そうそう
か、かわを持^もって、かわをこっち起^おこして⁵⁶、戻^{もど}すように⁵⁷丸^{まる}めるんだよ⁵⁸
ううん、ああ
まれ み ぶ き よう おとこ
稀^{まれ}に見^みる不器用^{ぶきよう}な⁵⁹男^{おとこ}だ
ふ じ お
富士夫 : すいません

しょうた
章太 : 文句^{もんく}あんのかよ⁶⁰、転校^{てんこうせい}生
ようこ
陽子 : なあんだ⁶¹、タバコかと思^{おも}った

富士夫 : いくぞ
 ごめん、ごめん
 由太郎 : 今度の学校でさあ、野球部入りたいってお母さんに言ったら、ダメだって
 どうせ⁶²長続きしないからだってさ
 富士夫 : そんなの、やってみないと分かんないだろう
 由太郎 : だめだよ
 お父さんに似て、運動神経ゼロなんだから
 ついてないよな⁶³
 なんて⁶⁴父さんに似たんだろう
 富士夫 : 言いたい放題言いやがって⁶⁵
 見てろ⁶⁶
 ヤバい⁶⁷
 由太郎 : お父さん
 親が先に逃げて⁶⁸ どうすんの⁶⁹

 優子 : 市の制度で、事業融資資金が500万円、借りられるらしいの
 年利2.5%で、償還期限が6年
 フランチャイズに加盟すれば⁷⁰、年利5.9%で、融資も受けられるそうよ
 で⁷¹運転資金はあだし⁷²のへそくり⁷³と富士夫さんの退職金の
 一部でね、何とかなる⁷⁴と思うのよ
 恒子 : だけどその、もうかる⁷⁵のかい、その弁当屋っていうのは
 優子 : チェーン店⁷⁶だから、そこそこは⁷⁷いくわよ⁷⁸
 義造 : くだらん⁷⁹
 何が弁当屋だい⁸⁰
 優子 : いい⁸¹
 つぶれそうな⁸²酒屋は、お店をコンビニに改造するのよ
 コンビニにお客が入れれば、お酒が売れる
 弁当屋に、お客が入れれば、おまんじゅうだって⁸³売れるわよ
 義造 : ふざけるな⁸⁴
 俺の店のどこがつぶれそうなんだ⁸⁵
 優子 : つぶれるわよ、今のままじゃ
 帳簿みたんだから
 ずうっと赤字続き⁸⁶じゃない
 義造 : このやろう⁸⁷

かって お き みせ と あ
勝手に押しかけて来やがって⁸⁸、店まで取り上げようっつうのか⁸⁹
だれ せ わ
誰の世話になってんだ⁹⁰

ゆう こ
優子 : あたしはね、お父さんやお母さんのためを思って⁹¹言ってるんじゃないの

よしぞう
義造 : 黙れ⁹²

おう⁹³、あんた

ね
寝ぼけてやがるんだ⁹⁴

かま いっぱつ
構わねえから⁹⁵、一発⁹⁶、ひっぱたいてくれ⁹⁷

ふ じ お
富士夫 : いえ、それは

よしぞう
義造 : 何、じゃ、あんたもグルか
くだらん

おんな い
女の言いなりになんかなりやがって⁹⁸

ふ じ お
富士夫 : グルだなんて⁹⁹、あの、そんな、あの

ゆう こ
優子 : あなた、どっちの味方^{み かた}なのよ

この店^{みせ}はもうダメだって、はっきり^い言ってやりなさいよ¹⁰⁰

よしぞう
義造 : だまれ、だまれ

かって ぜったい ゆる
勝手なまね¹⁰¹は、絶対に許さんぞ¹⁰²

もん く で
文句あるなら出てけ¹⁰³

まえ よ おぼ
お前ら¹⁰⁴呼んだ覚えはないわい¹⁰⁵

ゆう こ
優子 : どこ行くの、変な格好^{へん かっこう}して¹⁰⁶

よしぞう
義造 : 変な
大きなお世話^{おお せ わ}だい¹⁰⁷

ふ じ お
富士夫 : お父さん^{とう}

つね こ
恒子 : ほっときやいい¹⁰⁸んだよ、どうせ行くところは決^きまってるんだから¹⁰⁹

ゆう こ
優子 : そういう訳^{わけ}にはいかないでしょう¹¹⁰

あなた！何^{なに}してんのよ

ぼうっと¹¹¹してないで、説得^{せつとく}してきなさいよ

ふ じ お
富士夫 : 僕^{ぼく}が

よしぞう
義造 : 変^{へん}か

よしぞう
義造 : あんたには、すまん¹¹²な

なに
何がおかしい

ま、優子^{ゆう こ}の言^いう事^{こと}も分^わからんではない¹¹³ が、店^{みせ}の事^{こと}は俺^{おれ}が一^{いち}番^{ばん}よく分^わかって
る

富士夫^{ふ じ お} : ええ、そりゃ¹¹⁴、もちろ¹¹⁵ん です

義造^{よし ぞう} : やりにくい¹¹⁶な

男 同^{おと どう}士^し¹¹⁷ の 話^{はなし} に 顔^{かお} を 突^つ 込^こ ん じ ゃ ね え¹¹⁸

義造^{よし ぞう} : とにかく、ダメ^{もの}な物^{もの}はダメ¹¹⁹だ

冗 談^{じょう だん} じ ゃ な い¹²⁰、弁 当 屋^{べん とう や} な ん て